

全学内部質保証委員会検証における意見への対応

部局等：総合情報基盤センター

評価結果における意見等 (※問題点や改善を要する事項、改善が望まれる事項等)	対応状況
<p>人員配置、施設・設備、財務基盤のいずれにおいても、限界的状況を少しでも改善できることが望ましい。</p>	<p>総合情報基盤センターの専任・兼任教員・非常勤職員と情報企画課職員の役割分担を明確化し、教職協働による継続的かつ安定的な情報基盤運用体制の構築を進めている。また、総合情報基盤センターより学内へサービス提供している仮想サーバや仮想基盤利用等の受益者負担金の人件費・設備修繕費への計画的な利用を検討している。</p>
<p>自己点検・評価報告書の記述をより具体的、分析的にする、点検・評価・改善が行われたことを読み取れる資料を同報告書につけるなど、自己点検・評価が有効に機能していることを説得力のある形で示していただきたい。</p> <p>また、もしも、運営委員会、センター会議、情報サービス推進部門会議などの会議体の要項等に、自己点検・評価とそれに基づく改善が所掌事項として役割分担も含めて明記されていなければ、明記していただきたい。</p>	<p>評価基準の再確認を進め、今後の自己点検・評価においては、例えばシステム稼働率や、サービス利用件数等の定量的な指標（KPI）を積極的に盛り込み、客観的な分析に基づいた記述を行う。また、評価結果を受けて実施した改善措置を対照表として整備し、報告書に添付することで改善プロセスを可視化すること等も併せて検討する。</p> <p>「福井大学総合情報基盤センター運営委員会要項」等の関連要項を見直し、自己点検・評価とそれに基づく改善が所掌事項として役割分担も含めて明記する。</p>
<p>年度ごとの事業報告において、内部質保証として点検し改善した点を読み取ることができるように記載した方がよい。</p>	<p>評価基準の再確認を進め、令和7年度の事業報告書より「内部質保証」に関する項目を設け、自己点検・評価の結果がどのように次年度の計画や具体的なサービス改善（例：設備の更新や運用の見直し）に反映されたかを明記する構成を検討する。</p>